思ふに観察経済が金々複雑さ なり一間の経済は他國の経済 はれる今日、我國經濟界の海 はれる今日、我國經濟界の海 が経済事情に依存する所は甚

地が多い

ふるに、世界の動衆三帝機な

當面の質狀さして目下の財界は一兩年前に比して著しく改善され景氣の前途に對して相響され景氣の前途に對して相要のカンフィデンスを有つに発に世界經濟界の大勢は既にしたさ謂はれて認ら所ならんば蓋し過家經にして認ら所ならんば蓋し過家經にして認ら所ならんば蓋し過家經にして認ら所ならんば蓋し過家經にしている。

財界の将來

金再禁止以來、四

東京株式取引

長所

建制別々これが應急策さし、顕洲副諸島は此の點に着目

給を行ひ一時を救ふて居た

界目目前

日本橋通驛前

注目をひいて居ち 商品の商標権も

は施け各方面の

大阪商船出帆

中谷時計店

電話三人五四

浦鹽間に

車運轉開始

ピン

同法は共行の資別域成立以前 の商標法を日本政府相標法の 自該せしめ、新規居出により 対力を發生せしめる事を 人れて新機輔を出 へる事に決定してるるが、同 へる事に決定してるるが、同 、活規居出により 、活規居出により 、活規居出により 、活規居出により 、活規居出により 、活規居出により 、活規居出により

局談の形式で左の河が競表し、東京十一日登越瀬)端洲均

面して民政部では豫め本案の 職に於て本案の主旨に基いて 小規模の金融組合を實施した が規模の金融組合を實施した を関連がの護は意外に早期に全 を発を促進するものさして非 繁榮を促進するものさして非 繁榮を促進するものさして非 なるならず引いては曖家經濟の が発を促進するものさして非 なるならず引いては曖家經濟の と関連の直接問題たる金融組 村金融の直接問題たる金融組 村金融の直接問題たる金融組 村金融の直接問題たる金融組 本案實施に常つてはその第一 を創設し更に之等を基礎さし を創設し更に之等を基礎さし で変次販質組合、組成に若手 で変次販質組合、組成に若手 の段取りきなつて居る

農民金融組合

大同二年度から實施

括弧内数字は昨年同期月計計

新權限附與

四つ、三金田県(四十八)

「排 口質計 数替」 金額 (21 七三•三) ○· 茶公 公· 茶公

要するに木年の財界は表面的 では
好景氣の現象で更に明か に
は
好景氣の現象で更に明か に
は
好景氣の現象で更に明か がある。
新かるか故に
誠民は 野島の
撮移を忘れては
変演界 大島の
推移を忘れては
変変れては
ならぬ

の今日

四萬に滅じ命は帰順を申込んと丁超はり、東京を算した兵匪は一掃され僅かに馬賊され種がに馬賊され種がに馬賊されて熱河省の北京が降阪の地で、中夏世で変動するに過ぎず、昨夏世の京を算した兵匪は十二月末 満洲國に生れ出る 題は熱 と等の機関の有機的相關活動 によつて大議州域機業の合理 的統制經管を促進せんごする 農業経営の大農化を圖らし 農民金融の関滑を企圖し 農民金融の関滑を企圖し

活況を示す

新京局の為替貯金

台

(元公臺岭杂

新京郵便局郵便課で作製中の を受入は一昨年に比し約四倍的 を受入は一年年に比し約四倍的 を受入は約二倍、振替受人は 約四倍の金額を示し居り、郵 約四倍の金額を示し居り、郵 の有様で、現在層員は事變前 の約二倍に增員され、更に近 く増員が申請される模様であ る、月計內容尼の如し

(元、西小、元)

すんです。わたしに何も聞さなくなればきます。 なぜ、そんなに関

金餌

(四・元ので、中の一次)

ないですか?』と、酸に彼女は やないですか?』と、酸に彼女は にかくして短線なことをするんち、

米國大統領に

制定近く完了

好轉を見たこまは結構である る景氣は畢竟するに一時的昂 奮に止まるのみならず調民生 活の不安を招来せしむるであ りす。未曾有の低金利が示す 如す金融界の基調は本格的に 観漫を助是してゐる。此の方 面から受くる事業界の利益は

しかし、窓出することは、路上のられたりして、實行が出来なと、きつと飛電が入ったり、差があられたりして、實行が出来なががあったから。 だが、別ならは「椒」の干燥子になるというを見つけられ、それを繋どられては、ようようになるというとは、路上を繋どられては、ようようになった。

たったの、女性に……」たったの、女性になって、かはつたり心をしたりしてある心も知らず、兄が妖たりしてある心も知らず、兄が妖たりしてある心も知らず、兄が妖たりしてある心も知らず、兄が妖たく打ち時けてくれぬがくさい住した。 では、一般では、できながら、やさしく、 であるとなった。、では、このでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできない。では、できないできないできない。できないできないできない。できないできないできない。 たれずにあられなかつた。 は、館番も野村膨出してるのであった。館をいったのだった。 統石の信仰も、妹の熱情にはた。 度い世の中に、たつた二人まりなもたよるものはあないんだ。此のもたよるものはあないんだ。此の 干闘ちゃんが僕の味がをしてくれ るからなんだ!」 りを、みんなしていぢめるんです うよ。そしていつまでも膨れない 『あれて出て下さい!』

千龍子も、しかと 千鶴子も、しかと兄の腕に抱き かいてあた。… 信難は膨散の源に明びながら

まます。 難ひに來ないで下さい。 果てもぼりません。

村でもの 『さらか、千ちゃんまで、いぢ

上等下宿空間有り 上等下宿空間有り

洋帳簿 各種製本專門二名堂製本所三省堂製本所

マえ」、お似さまも一しよになつ

日本刀劍(鑑定無料)日本刀劍(鑑定無料)日本刀劍(鑑定無料) (鋪止)(槍っ薙刀) 長春寧町小學校輸 井上 示 現 軒 車 上 示 現 軒 師範 西田方山

東部、大朝兩新聞計發 東京}朝日新聞販賣用

大四二 日日日 分分分 五三二. 果京市韓田區豐島町

▽全國各藥店に 藤井得二郎商店 あ h

龍角散の適應容體書 たんにて常にコキンコキン悩む人

脱そ一二週間間けて服用さるれば能く效果が観る其の他如何ほど蔵国塾祭の呼吸器民魅のたんせきも 一世のそくにて せてせて 思 切する人 地を頻に出で夜中 オナ 眼報る人 たん 臭氣を帶ひ時 水血の交る人 たん 臭氣を帶ひ時 水血の交る人 でん 臭氣を帶ひ時 水血の交る人

版指 賣定

入一 満洲國名画五 長崎カステーラ 製菓業 電話三十六八九番 傘のモナカ 人氣店

(ハルビン十一日 登園園) 我の安全並行至く保障された ので東支國消雷局は十二日からハルビン浦總間の直頭旅客 列車を運轉する事ごなつた常 日本軍が警備のため乗込む告 である **粒**)須藤 剴 方 \_\_

(百十五)

「一一人人の手紙なんか見てどうするのだ、脚脚!」

「一一人人の手紙なんか見てどうするのだ、脚脚!」

「はは、おい、手にした総きれを地のでに入れやうとした。
「よせ、おい、よせつたら!」
「は離にがまかせに、「妹」を押して、一旦岐られた紙きれを地でするのばして、一旦岐られた紙きれを地でするのばして、一旦岐られた紙きれを地でするとした。 た。「野はね、吹、この家を出てしまはふと思ふんだよ」「飲味は思ひ切つてぶちまけた。 と思いきや。

『千綱ちやんには出る必要ないち字に現はれて出るのだ。 字に現はれてぬるのだ。 いいえ、こんな歌には、わたし **ゐたくありませんわ** ● 専属市明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月) 制引派用明問ニケ月)

大阪商船大連支店的國際運輸會社支店

日案內

でいる、お兄さまと同じことですわ、近頃……」と云つて瞬いた でも、干酷ちやんは残みたいに といふのと、同じ瞬ですわ。わ どうしてツて、お兄さまの出よ 質は三浦屋 

肺だ 結び 核で

變2

荷

着

を過なる

して一生

مريدر

ズン

٤

亢\*

進'

洋服類各科揃ひました 破格提供 一二浦屋質店 電話三七七五番

小口金融 神相談: 版 出版、其他 祝町二丁目四番地 (西本願寺向右灣)

から咳の

病気に罹っ

すぐ離角散をお

服"

です ます。

なり

生 大 勉 强 是 大 勉 强 告急 速張

電話三四六四番

経対に副作用なく

香味は最の度快 効果は最も迅速く

撫順炭



咳困難を去れ

節となりました。せき ンセキとゼンソクの

は呼吸器へ直接に衝動を 直ぐ治療しなけ すから、これに概

おくと ばいけません。捨て」 念に嫌失 目に見えぬかで 助?膜炎 座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導関として最古の歷史を有し、多年扶植培開として最古の歷史を有し、多年扶植培開として最古の歷史を有し、多年扶植培 の最高權威也

電話二五一七〇

新本京社 電話二三四四番

**風物各種** 小林履物店

御待ち兼

士

職品の理事 職品の理事 を消と続し触の研究家として知られ著書亦多き東京 での理事

して居るに過きない、之は事のに對し二六九四千圓を計上して居り營業税の如

二百餘萬圓を満洲中央銀行か大同元年度豫算は歳入不足千

つ主要な道路建設其仲容め地方行政を関帯なるし

※ 各地の生産力か豊かてあ

消大でないさ考へられる

變真後治安維持完からさ

は其約四分の一の二九五五千田賦は一〇。五九六千圓の篠

加するを疑けず従て本見積け本年度、歳人は豫智以上に増

150

1

名 年 工作に從事してゐる、之等のモタンガールで組織され宣傳

南京あたりより出

謀次長。柳川次官、山岡軍務 事參議官、荒木陸柏。 員崎參

る山海棚三宅O隊は十日午前を攻撃すべぐ前所より前進せ

三宅〇隊勇躍

(錦州十一日養國部) 張輝良 の使嗾による熱河低勇軍は彌 洲町の治安接觚を贅策し漸次 活動的ごなり熱河東北省境方 間に基結された低勇軍北省境方

十日午後國務院内に各部代表 者夢集記念祭奉行に關し第一 何打合せ會を開催して各地方 省並に民間関体か6は現議別

無河間関解決せず。時流柄川 東を単行し度いこの意向で當 中は冬地孔子廟に報告祭を行 ひ三日間に亘り祝賀會を催す

作霖旅の到着を待つて居るのため尙怪黒河に滞在して周

滯獨中の

ウリングンの接養所で病氣加

汪精衞

國府の懇請で

質素、嚴肅に擧行

週年祭

を嚴重警戒中である

来てゐるか政府さしては未だ。 専行したい。類のに請願して の出來 A丈け盛大な記念祭を

既に黒河より訥河の方面に移

介石等さ意見を異にし行政院の上海十二日發成側)場所問

京同四時三十分奉天へ向つたは十二日午後三時五十五分來

故廣瀨工場長遺

骨

黒河に胃を病む

6川來 5丈け盛大な記念祭を萬民衆の努力の賜物であるか

匪賊討伐に

九門口東北

める、紅槍會開黒槍會匪

會請を開き井上、鈴木。菱刈 に室に非公式軍事參顧官の初 に室に非公式軍事參顧官の初 でである。 では十一日午後一時から省内大

口の政権擁護獲得に

さしてるち

滿洲國

一時級更へ得る故に實際とな豫幅金を包含せしめてはな豫幅金を包含せしめてはない情人金は除程標準の人気は、

に従ひ現れて來るさるの信す

石本氏依然

朝陽附近にあり

してゐるから丁超の最後にな

るのも近からふ

せらるしものてある

九白萬圓 ミ云ふ比較的

はすに踏む可きものてあ

交場片専覧も今年15から實施 でもれるのであるか之れは台 でもれるのであるか之れは台

政の將來 滿洲國財

要な財源さなるここさ思ふ加

川を維持し丘同銀行の基礎企大の英大なる輸出超過である。

關東軍司令部 鈴木顧問談

減する際に行がぬ 変収二七。一六九千圓に對し 一六、八一四千圓を計上して ある勿論之れは治安未だ完か ちさる地方もあり且常分の内

日に於ては直接税たる上記所 税を傷めて少額に見積たのは 常然であるが、近き將來に於 出産税の如きも舊時代には二 四、八三五千國の實收に對し 制度の秩序间復され民心の要 定及各産業漸く緒に試くに於 を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し が関家は六、二一三千國を豫 を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し が関家は六、二一三千國を豫 を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し を居る、故に治安維持普及し が関系に終すると記職である と、近き將來に於

世るるに至らは收税すべき即に光明を見るきを得たのであれ、今後各地の治安だに維持のである。とのでは、一年の豫算に於て己に前途のであり、一年の豫算に於て己に前途のは前述の如く建劇

耐財政五ケ年計議に依れは中 むるご其収入の確實性ごは輸 記兩地の比ではあるまい帰洲

「錦州十二日養國補」石本氏をの後の狀況を含くに山海駅事件養生後期首李海峰は石本氏な南事を恐れて石本氏は既に南京政府に護送したさの流言を放つてゐるか事實は石本氏は既に南常に附近の村落を物々さしてお動してゐるこさか明6かさ

固なる

日本軍に歸順の意志を存して事もある程である。又内心は日新ご衝突し劉が勝利を得た日新ご衝突し劉が勝利を得た日新ご衝突し劉が勝利を得た

電偽男軍に望みをかけ之に注

面の事態は重大化して來てるして居る之等の事實から同方

込んだ命は莫大な顔に昇り

重に監視してるち旨を述べてるので情勢の推移に就ては厳

更に種々意見交換

であった時代の四千六百六十四四萬圓の實性を知ることに於ては外國品でして認めらると に於ても民國を外嗣扱となす こことなり、民國さの輸出入 貨物に對しては外國品でして の職稅を課することとなり、民國さの輸出入 であつた時代の四千六百六十 四千四十六萬圓を計上したに 過きの、事變前支那の一地方 であつた時代の四千六百六十 四萬圓の實性を知るこが出來る といたに 過きの、事變前支那の一地方

に向て職税軽減の可能性を示も減らしたご云ふここは對來

あるから國庫の收入も著しく 業も開めされ、人民も安して 其業に就くこごか出來るのて

二億萬圓の收入を駆け得るこ職實であつて五ヶ年の後には

丁超の最後

後毎年「千萬圓見當の増收は

の方は徒6に交明的施設さへ

に角體の收入を一千萬圓以上

ものさ豫想して計算された見願の家輪密賣も相常に行はる

事態重大化を説明

軍事参議官初會議で

(=)

然河大

集結

至部

年

頭

所

咸

司法部總長

勢力抗争に没頭す

東は殆ごなく、承傷の眼軍は 外套もなく給與の不渡は十一 ク月に亘る爲匪賊は小銃弾を 会り金にかへてゐるものもあ る。この結果土氏が直接、間 を負債する事になり、湯の誅 地工作自動車道路の設置を 大掃蕩は却つて易々たり

を以て反論抗日の腹を決め、 単良は實力

教國後援官本部を熱河に移し

又開食。赤峰、園場にけ騎兵旅

打倒湯玉麟運動擡頭

たが毎回找軍に撃退せられに亘り猛烈な攻撃を開始し

北部に最近

は下籍に、鄧平、檀目新生で南下した馮千海、李海 がある。その中間魯にある第がある。その中間魯にある第 魯北一 送の崔興武を召還せ 最近湯代直系軍二千 李海青軍 に李秀亭劉

はハルモトに蟠気して機を窺ってるる、鄭桂林軍、偽勇官 拓東劉桂堂 はる名旅長億勇軍の首領連及 高四ち湯玉麟の態度曖昧にし る即ち湯玉麟の態度曖昧にし を開ち湯玉麟の態度曖昧にし

荒木陸相から

「國運」中央政府及興良からは民をつくかれ、北端で敗走 地る兵匪軍からは地盤を荒さ が最近更に熱河北部に於 せる名旅長優勇軍の首領連及 せる名旅長優勇軍の首領連及

その實行運動に着手した模様 湯玉麟打倒方葉を創策し己に 扇旅長は目下劍山に集合して

部間に不平の壁が高かつたが、はその優に遠し地租の如きはその便に遠し地租の如きはその土地の管質價格ご匹敵する程で住民の反湯熱は急に表面化するに至つた、珠に林西の石第一族長、健壮族長、経 旅長連に住民も参加して 九時十五年九門口占領後主力を李家堡、九門口東方に集結と明まり東北方山中に鑑用する開賊を殲滅すべく勇躍出動した

は昨日に引き續さ (天津十二日發國通) 支那紙 支那紙の ヨタ續く

他の三省さは不可分の網係熱河省は舊東北四省の一で

に在る、満洲超獨工宣言の りさして明瞭に宣布しリッ りさして明瞭に宣布しリッ ・ 調査員の質問に對して も端洲富局はその越境は周 里の長城なる旨を明瞭にし

鐵道破壊の機を窺ふ

**熱河偽勇軍策謀** 

懸々能動的となる

困却してるるのは官 ある事で

回りてある。 一進辰写一 さなりてるの気色が表はれるご徹底的電 歴を行つてゐるので、エンサ の苦悩を管

の魔手は遠くに及んでゐる。中子にあり募兵を機績し、そ時の場所を機能が

最近正規軍の熱河逃出が活發

して玉道國家建設の大旅を翳して玉道國家建設の大旅を翳 兹に希望澄ると新春を迎ふ 建國の大業著々さして進 たる隣際三子

現てあつてこか含め 物にいそしましむる 治安の達成さ同様に しめなければならぬ。

て其の業

るこうる

て鋭感努力しつであるので鋭感が、司法制度の改善、授用法司法制度の改善、授用法

対すの我か優洲國にさつては お安の維持か最大の急務であ るここは言を俟たないのであ るここは言を俟たないのであ

越土廣くして民度尚ほ高しさ

北支各軍共

本末本儀太郎(日支間随研究會社長)十一日午飯九時三十分外別問問上 「一日午後九時本京 「一日午後十十分本京 「一日午後九時本京 「一日午後十十分本京 「一日午後九時本京 「一日午後十十分本京 「一日十分一本本

▲ 亨山特龍(殿蘭警察署号) 同上 《于芷山氏(奉天警備司令官) 以下五名同上 《八田副總裁(編織)十二日 午後四時三十分商行 本十河理事(嫡國)同上 和中營業長(新京鐵道事務 例)十一日午後四時三十分

参戦を决意

太原北平進出協議

と 前線進出に決定した の映意を固め命令を奉 の映意を固め命令を奉 の映意を固め命令を奉

の天氣南西の風晴れ

、最低回二十六度六十三日一日の氣溫最高零下十七度

氣 豫 報

新の前途には多くの離脳が横 いつて居る友邦日本さ雖も維 いの大業を成就し治外法権の はつて居る友邦日本さ雖も維

王徳林の家族

人事往來

▲太田少路(熊▲陸軍数選挙を入った日後祭官長(福東軍職長大作)十二日午前九時二十分ハルドンへ

露領に逃亡す

する吾人の努力か我か嫡洲ぬの向上破展に付て権めて繁切の向上破展に付て権めて繁切のである。 余か過数日本に赴きて其の司法制度の視察をなるここを被信せるかほ

見聞して我か副司法改善の資料法に供するさ共に日本の治外法権撤廢の氣運を促進するこさを目的さしたのであっか日本の治外法権撤廢の氣運を促進するこさを目的さしたのであっか日本の治外法権撤廢の氣運を促進すること

は言ひ離き我か満洲嶼か眞には言ひ離きして國際的の信室をつなぎ得るに至るには官氏一致の努力ご熱情ごを必要ごする。年頃に際し司兵部に職を奉する吾人さして今更に責任率する吾人さして今更に責任を明し併せて官民一同の奮起こと傾倒さを祈つて己まない次

ならざるに乗じ北軍は進撃をに悩まされ行動窓の如く き報じた

容喙は不可

侵略者討伐

第三者の

従つて省内で治安を案する の題明をなしたこれを以つ の題明をなしたこれを以つ

日本國民は熱河の地位を明 際に認識して同省の事情を 職務に認識するの必要があ 過ぎず、他から彼是文句を 生めき同様調内の出來事に せるき同様調内の出來事に

面進出につき重要質識を行つ重性に依れば宋哲元は十一日陽島山東より太原に至り午後園鶴山東より大原に至り午後園鶴山東より大原に至り午後園鶴山東に依れば宋哲元は十一日陽 たが會議後朱哲元は語る

秦皇島の掠奪犯人 全部銃殺さるる

數多柄新

ムバルアトチブクガ

目丁二町野吉

加盟店 輸入組

番〇九三二話電

「山海桐十一日麓蝦夷」奏皇島に於ける先般邦人の住宅を 原に於ける先般邦人の住宅を 原と部銃殺された、尚同地 (秦皇島)在智邦人五十名(全 部男子)は今尚ほ我兵管内に 収容され無事である 育に出席するか否かもジュテ の根様を見定め決定する事ご なつてゐるので十九ケ嗣委員會 に出席するか否かもジュテ 鼠療養に名を籍りて遠く獨逸に去つてるた汪精衛は政府及代理行政院長、宋子文等の歸氏の歸國は非常に重大な意味を有するもので各方面に一大を有するもので各方面に一大を有するもので各方面に一大 長の重大職費にありながら病

ープ到着後決定する筈であ 朝鮮明太子和はず御用命を 本年度走り極上品入荷致し候多中に 本年度走り極上品入荷致し候多中に 本年度走り極上品入荷致し候多中に 本年度走り極上品入荷致し候多中に

安く賣店を 日

華

テレビアンダイナミツクススピーカー付 ラヂオ新發賣 金一百三十五圓

日本放送協會推奨品

滿洲總代理店 オセフト修理 敏速

ラア

52

夕!每夕五時半開演 無線電機部 荷 行

待望久しき名浪曲講演の

文藝浪曲

酒井

創始者

社會會係部

京知阜波野 春

本人党科方面に退却した党林 で丁超は八日夜半崎下二千を で丁超は八日夜半崎下二千を で丁超は八日夜半崎下二千を

主 長

報人人會行

一向女庵、神谷商店 渡邊運動具店具他

當る十一日より三日間限り

吳で海軍葬を行ふ

人に告握手を賜はり、新聞紙上に寫真を載せました。本庄閣下に御目に掛りました時は閣下に御目に掛りました時は閣下に御目に掛りました。本庄閣では入和を得て其の天時地利を全ムする様にごの御数であります。東京市長は我々に望むして御敷待下さいまして

滿洲國外事

課長の慰骨

であります。天下を平にせずであります。 談意正心、修身、 の は が は が は に の に の り ま す 、 こ う な れ ば 的 家 は に め か さ 思 って も 治 ま ら ざ る ケ 得 な い の って も 治 ま ら ざ る ケ 得 な い の って も 治 ま ら ざ る ケ 得 な い の

東郷まで網案内下さいまして ので計ります、横須賀軍港に がりました時に所有ゆる要塞 は皆我々に見せ、而かも長門 なりました時で所有ゆる要塞

なか

為

中国

着牛堂醫院前

5

コサチ

で悪事を働きおり相當の餘罪 トランクを窃取して入質、ハビンの旅館を踏倒す等各地 したもので、奉天の某旅館で

を得へられ先般死体さなつて 活洲 串事件にて永く行方不明

百五將士死亡と認む

苦心搜索も空し

H

感

想

國務院法制局 質

さき持つて来ること連へ連る こを持つて来ること連へ連載、又御女中が取つて入口 に脚奥議始め御坊をやん、御 に脚奥議始め御坊をやん、御 たやら御菓子やら持つて来る ためら御菓子やら持つて来る

特產運搬保護 警備司令部の

奉天省

地方住民大

長白、蒙古、双山、楡樹。縣に参事及び屬官配置され縣に参事及び屬官配置され

大にして殆んご全省疲弊し 大にして殆んご全省疲弊し 無龍江省は水災の被害最も

審競馬場附近一帶の新道路新 普油學校增築 ・

戦護國の鬼さ化し建國の機段の満洲里海件の際克くいの警察事務を遂行案に奮戦力

死体ーを潰棄して北方に逃走等側ご交戦一時間の後、賊は安里の所大城子に又復興目不安里の所大城子に又復興目不

**陸軍大臣荒木閣下は我々二十** 私は感謝するのであります♪

から引致

し目下着々建設事

▲中央道路延長の料舗装

正常に復さん

吉林省 さなつてみる

全満の經濟狀態

一個の首都新京地方事務所の昭和八年度を は約七十五萬間余で昨年に 北し約三倍に昇つてるるこの 膨張した事業費豫算は本社 こ して相當の機性を拂ひ大韻洲 して相當の機性を拂ひ大韻洲

◆干鳥町の一部(商業學校間)
◆陳軍官舎附近道路新設
◆照道溝一部護岸工事
◆公園の改造
◆公園の温室新設
◆京一條通の情楽新設

▲第四水源地擴張工事 ◆陸\*官会附近一帶の水道緻 管敷設工事 管敷設工事

旋の殿り

「政補」 議洲國内各縣の治安に於ては豫での懸案により來 る十五日頃より縣政審議會を開催し縣制及び縣官制を審顧 制定するこことなった。 右に 付現在議洲國內各縣参事の配置狀況を見るに

無目が居残つて縣政指導に 「統計伐軍に同行してゐる宜 「新山」、富錦、樺川には東部 「東部」

水道等で、新規事業の主なる水道等で、新規事業の主なる。

満洲里事件の

遺族

に弔慰金

最高三千圓に達す

近に匪賊

大榆樹驛附

水道等で、新規事業の大

公費の部

皇軍慰問の

青年代表

東京發

立教大學海外協會派遣慰問團に

大喜びである

禁止圍碁と麻雀大會

三月中に

實現せん

屈 知

會

(廿九日頃)

廣瀬氏の

ドルデ太郎トモンタイ

訥河東方の

修理の結果十二日午前八時四年脱線し不通さなつたか應急

1

和八年一月十二日

**图**碁大會

(廿二日頃)

その慰問女の内容は皆同様に署各保及各派出所へ配布した電に本 夜動いてゐる警官の苦痛を溫 庭を犠牲に身をなけうつて日命線雅護に、治安維持に、家 寒氣 こ 戦つて新京 否備洲の生 内地を遠く離れて氷及逆巻く された生徒 の慰問文二 おいやな時がたびく御座的ませつ、私たちはお友達のないで御働き下さいます。ないで御働き下さいます。「「は神像に御祈りする事をいるした」ですが御から 環側に居られる人々の御祭 は関きますが私等は講別を 知りません。今日その演洲 の御話を先生から聞きました。さても寒いこころでお 國の爲に働いて下さるので 私等はこうして樂しく勉強 の出來ますのを心から嬉し

第七小學校三年生

御発下さいラジオでは時々 を同對してみたでの一通は 砂してみた、なほ二枚の圖畵

真心で慰めた

縣參事

の活動で

り、本十一日より教施してか 特道に配し游撃隊ご協力して 特道に配し游撃隊ご協力して を表する事ごな

石炭が

会さいふ酷寒、斯うなる三三 多でいるでは、新りなる三三 多の飯は一度くらひ我慢して なっために焚く石炭は一刻も無く てはならない、横洲馴れない ものはこの俄かな寒さに慄へ あがつて無菜苦菜に焚くこさ だらう、一日にこの頃ごのく もひ賣れて行くかき鏝北の貯 以後は毎日六七百噸づく市中 に配達してゐる。それで前は ごうかごたづねたざこれは年

息が縫くものご観測さ

で買ひ溜めをやつてゐたのがあるから一日ごのくらひ出たこであつた、尚これから先っこであつた、尚これから先っこの位の寒さがつざかないこしても需要量は當分六七百噸はあるもので、満洲人側が買ひに當るので、満洲人側が買ひに當るので、満洲人側が買ひたものと行ふのを例としてゐる。

目を廻す程忙 の京新

定額の予割。吉林省は五割。 き属 一番天省に於ては收入後で、奉天省に於ては收入後で、減收又減

「國祖」我軍の蘇炳文綫軍討伐にあつて來た、即ち國務院與安福政府の本格的組織を重要する聲は與安嶺政府の本格的組織を重要する聲は與安嶺以西に充強してこれが實現は刻々さ迫って來た、即ち國務院與安總 日七百卜 に風評に止るに過ぎない、然 「國連」最近黒龍江省警備司・ 令張攻鑄上京陸軍大學入校の 等待へられたが黒龍江省の現 就はこれを許さないので、單

于警備司令

課員、協職十河理事以下は七 「國通」一昨日來京した于奉 「國通」一昨日來京した于奉 「國通」一昨日來京した于奉 招待し小磯參謀長、岡村副参

滿鐵明年度豫算

七十五萬余圓

昨年に比べ約三倍に達す

▲陸軍官舎附近の下水管敷設

水道の部

東龍江省の如きは三割に過ぎず、民政部では今年中に端洲ず、民政部では今年中に端洲では今年中に端洲では今年中に端洲に復すべく別待してゐる 東部線の

目下中東國紹東部線方面にて 身をさず極寒を物さもせず最前線に活躍窓に名譽の資傷を 受けた第〇〇團の將兵は十四 受けた第〇〇團の將兵は十四 では、1000年により新京者、雷

奉天に歸任する豫定 警備司令は十二日午前新小菱

砂幣三千圓 巡官

寳物運出し

1月十六日 新京市内 1月十六日 新京市内

自治會が眞向 から反對

檢痘月日

施行區域

至午後一時施 行 時一

太蝎及于

堂 所听

一月廿二日 新京市內

統黨築多数を鹵獲した とた。我軍は追せ他一門、小 が開築多数を鹵獲した

種痘月日

施行區域

同同至自身 年午後 四時時間 時時間

在してるた徐子鶴の残匪四百割河東方天字二十盒昭方に潜

1、練行ラ受クへキモノ 1、未久種痘ラ受クへキモノ 1、未久種痘ヲ受クサル省 1、未久種痘ヲ受クサル省 2、既住立ク年以内ニ種痘シタルコトナキ者及神痘シタル・イ・善感ナリシ者 1、種痘日割

詳細は追て發表

傷兵還らん

大木俊次 谷口 國男 加納一一 新技 真一 加約一一 新技 真一 本野倉三 山內 兼吉

前借を拂はせ 逃亡中を逮捕

を一気に攻略するものご印起事件勃發さるに日本軍が平津の海路である。日本軍が平津

1384

一、種痘後己滿五 牛者以及種痘而不善感(不出)者一、 會未接受種痘者 但除生後未過九十日者應接受臨時種痘人

新京地方事務所長 荒

木

奈良縣人ニ告グ

洗南のカフェー女給

「四平街支局を」愛媛縣温泉 | 定雄(1元)を知られる。 で呼吸を流した事があるが、館響祭に取押へ方を願び出で、 部生れ平岡ナカ子(1三)は以 する約束で前借七寸余圓を支部生れ平岡ナカ子(1三)は以 する約束で前借七寸余圓を支部生れ平岡ナカ子(1三)は以 する約束で前借七寸余圓を支部をれている。

鷄豚肉類は

北平の博物館長指

在新

京

本城質店 本城 総太郎

新京牛肉店組合では既報の通 り銀高に件よ原價の暴騰によ り名肉共二割の値上方を新京 客へ請願中の歳井上警部補は この寒氣にもめけず軒別に訪 時に鷄内豚肉に限り五分の値 上をサムこさでし十二日から 十二日から五分値上 吉敦線復舊

は第十一列車は機輌車、第十 額間に於ける第十三列車の1 額間に於ける第十三列車の1 揮の下に寶物を十の箱に詰めたか扨し何處に運ぶか誰か保存すべきかごの軍閥に委ねても記棒にあづける機なものでは皆物をごの軍閥にあづけても二度さ北平人民自治會では實物をごの軍閥にあづけても二度さ北平からの持出しに對

毛皮ショール

△加工シャッツ △加工シ防寒靴下 ※靴下

天然氷採取貯蔵に 許可主義採用

本機通り

本

洋

電話二一五八番

「直頭通」新京には製氷會社なきため従來より主きして伊通河の氷を採取貯蔵夏期使用に充て、居るが、之等の氷採取貯蔵と上間白からざる點あり、衛生上間白からざる點あり、個生上間白からざる點あり、個生上間白からざる點あり、個生上間白からざる點あり、個生上間白からざる點あり、個生人間上、 務司外事課長洪公余氏の遺骨 は十一日午後六時三十分警列 車にて禰洲國官吏多数の出迎 を受け時京した

初春の御婦人方へ

東京後六、二〇時事解説(覇中央放送局編輯)

新京後七、四五ニユース(朝東京後八、〇〇ニュース(朝 新京後八、一五ニユース氣象 特急ハト ウオツカミ葡萄四 新京九時急行營業 を行サーセス の一番コー人前三十個 同一部 一人前三十個

東京後七。1100-1-ス(英

駅町二丁目三ノ三

の高 商品店店

総各帯帯半 糸紐 え 針類メ場り 店門事 お召物新入荷

電話三八四六番

を見張つて尋ねた。

であ。たつたいま俺ミー緒に 屋敷をわけ出し、長州深邸に、 一時、身をひそめて充分静養 してくれないか。」

し殺し無害で腕を拱いた。

新京曙町四丁目二番地野京曜町四丁目二番地野京曜町四丁目二番地

荷

美人揃ひの

血液循環治療院

白轉車商會

店

電話 七二八四番

梅

ために参力して貰ひたい。—

をあに振力して賞ひたい。 一 はさか、君は、佐波で共に瞬 はさか、君は、佐波で共に瞬

石

四五

声店

富士町二丁目二十六

療時間 至午時九時(日曜)

協京 樹京 樹京 樹東 田城 野學士

松田本中

政俊

一それアごっしてだ、さ話せ 一年の面々、仙臺尾敷へ出向 いて留守だが歸つてられば、 いて留守だが歸つてられば、

ついては後ょすべてを共に樹ってた。一一の大はまるで闇の現在だ。

切叮嚀に治療致ます。是非一度御來院を卸願ひ申ます自宅治療に限り全身治療(七十選)小兒治療二十銭にて親の血液循環療法にて健康を御保ちを御願ひ申上ます。 誘病氣は血液の不順より來ます血液の不順を治すには常院

内無双の劍豪しから戦争のさ

ッ

用として堅牢無敵の自轉車 各種自轉車販賣 各種自轉車販賣

敵を討たねばなるまい

いい方策も立つまいさ思ふが、いい方策も立つまっては、特に死い別れてしまつては、特に死に別れてしまつては、特にが限った。

「むろんぢや。冬路ごの惨憺 でたね」 でたね」 でたね」

本紙愛

讀

者に

告 \$

西 尾

商 店

車子特へ當是車自夫でのを供に 店非は轉な丈シ

會席御料理

三人も 水田

Zaphanamanamanamanamana zaphana

神小內 精兒 科科科

島

配町太子堂苗

話二九五八元

親切で叮嚀

ーズンが参りました安く質用にも娯樂にも自轉車

As.

君は一切をなけうつても、仇しい焦慮。それらに對しても

受讀者の御家庭に御奬め致します品に敷倍する事を認め玆に本品を極力本紙配の子東子の耐久力は實驗の結果他の類似

颗京日日新聞肚東京支局最

いもない、今朝も、大分、

氣分はごうだ。」

「さっかも知れぬ。併し、第一「えッ、やつばり、昨夜の長

間之助は壁をのんでさびしく

れてるみぢめな俺の方がま

(四)

飛鳥 久緒二鈴木彦次郎 暨 作

編り歩きは出来のこ保護づけたなか、ごうも、昨夜の佐渡 たが――難馬。さっなるこ、 たが――難馬。さっなるこ、 「ざっか、たうミう阿部にや つまんじ物語つた。 のまんじ物語つた。 族側、品川にすかつて我か、 ため、動土の意めることを護 をにも充分認めて貫ひ、藩の が水を幾分なりさも、打開し でゆきたいのだ。」 馬。よろしく頼れぞ!俺は、落を牧ふ唯一の消だらう。 雄 いい かって犬死したくてないさい かって、 ない前途 、みすく 傍暗くこざされてゆくのを、 傍 「おと今になっては

んな身體。残念ながら、 \$

商

職の子来子を! の子来子を! 3. 2. 1. 器形毛が 大切けせず はずず

建材製造販賣 其他附帶工事 一次 加工事

吉備洋

備洋行

御

理

吾

妻

入院隨意

**摘話三一七一番** 

(日曜祭日午後休診)

7

城內西五馬路

**免許產婆** 

工事請負

おめでたう

鍼灸帥

助七等

吉

田

會御料席理

吉

(日曜休)

電話三二五九卷

產科、婦人科

診療(至午後五時)日曜祭日午前中

電路二六〇六番

明けまして

も旬日を出ずして容易に全治するマチス神經痛の如き容易に治し難 鍼灸治療は醫術の補足と見る可く

その妙葉のり で熱セキ止メ肺 能障害を胎すことたし、とりの血物は切開せずして治療し瘢痕でしまの他瘍、チョウ、セツの如 新京室町三丁目七 **公**學校前 吉 電遊 光景院

鋉

女よし

**節** 重 軒 養 椅

或さ事をも リュウ 関 りゅう さむい冬が來ました

お酒の味もこれから 是非一度お越しをしなり 御料理 席三聲三丁軍

會 富士町一丁目 廼

電話二五〇七巻

診察受付 正年より

小凡科科

神を かかり かっぱ を かっぱ は かっぱ は かっぱ は かっぱ は かっぱ に 感ず の 常に 感ず 堂脇サト子 電話 {IIHIIOB

外科、性病科

同仁

一醫院

皮膚、泌尿科

休診日一每週月曜日祭日

始本音學士

田

平

杏林堂醫院

入院隨意

日本橋詰新京ビル二階一號室

村田醫院

婦產 人 科科 堀 と巻ラ八二 院子惠エ番目

新京著名 POS PS 院

小口曲 兒腔科 曲外一 科科般

安谷勇火

目科療診 住宅 ...... 科科

善生堂醫院

電話三七八四番

社会 年後二時より午後二時迄 金恵は此の限りにあらず 急患は此の限りにあらず

性內 アヘ 痔疾科 小兒科 モヒ

ヘロイン中毒 醫院

隨時往診應需 入院隨意 日本橋通郵便局前 電話三七五六番

一路院

四腔外科 早川 診療時間 |本院錦町二丁目 | 一 | 本院錦町二丁目 | 分房 東三 條 離 | 分 株 形)

吉野町一丁目十四番地

醫

院

電話二二四五番

口齒科外科般

一、 顕 監督安に 伴ひわか人 編 監督 安に 伴ひわか人 編 監督 安に 伴ひわか人 絹 細 監督 安に 伴ひわか人 絹

進歩を共に一般の

東アフリカ向けのランカシア製品は最近表だしく減少しつある。 之は東アフリカの嗜好が綿布よりも寧ろ人網に傾いて來た當めである而して近時日本人絹が低廉

然し年ら前途を眺むれば、 然し年ら前途を眺むれば、 なり禁止的瞬税を引上けんさしてある、既にエデブトは昨年六月 る、既にエデブトは昨年六月 るの禁止的瞬税を課し扇何は より禁止的瞬税を課し扇何は より禁止の場合といても なっタワ協定に基いてイギリ

をの理由さして次の二つが卑 しが人捐は如何にして市場に いて行くのであらうか

見やう。昨年十月中旬東阿駐 在イギリス商務官の報告には たの如く述べてゐる

新くて日本人絹製品は廣大なるインド市場を席接して、 その九割以上を獲得し、其他 エデブト、蘭印、アフリカ等 に於いて獨占的地位を占める

海外市場の前途

替振興資金設置の必要が金の時價質上けを断行し

改利息制限法

取るべからず

はその常時遊資の洪水に悩まされた程であつたが昨年下半時に入つて郵便貯金の利下けを断行するで素質の大利下けを断行するで素質の大利下けを断行するで素質の大利下けを断行するで、俄然他方向へ轉じ大口貯金の引出し増加し今日で悪便貯金減少額は九億圓の

幸幸幸幸幸幸幸幸幸幸幸幸 の郵便貯金の強減油向は愈々 の郵便貯金の強減油向は愈々

大藏省預金部困る

た翻東州や瀟峨沿も實施す

て賣金集中の観を呈し預金が 金さ救擠金の供給を使命させる大職省預金部はその貸出し をき救擠金の供給を使命させ を実際便預金から仰ぎ昨年 上半期迄は主さして地方銀行 の信用低下の電郵便局へ向つ で賣金集中の観を呈し預金が

巨額に遠した、しかも例年一月には増加を見た貯金が本年は十日間に既に一千萬圓減じは俄然時礁に乗り上げ下半期は俄然時礁に乗り上げ下半期が近いの郵貯増の見込み二億風が逆

會社にも徹底した取締を無為替輸出も税舗のみが

埋法内容に對し銀行側は左の「東京十二日發衂通」 医替骨

息が食つてるるが司法省ではを排つても此れを取もごす規定がない貧高利貸は種々の潜産がない貧高利貸は種々の潜産がない、

爲替管理法に對する

銀行側の意見

一、大体安常だが、 3替取引を日銀等に集中するを原則を日銀等に集中するを原則を日銀等に集中するを原則

議會を前に再燃

# 

祝町鮮銀北黄中央な第四年 動すき

がを

は二億関に遠し大藏省預命部では明鮮不動産資金等の融組を決す機調査してるるか確定よりは四億圓の喰び延びが出来融通不能でこれが設策に手來融通不能でこれが設策に手來融通不能でこれが設策に手水の定。近日中に商闘決定せ

農林負債整理案 でも所澤飛行學校で教育するここになつてるる 

合法案

運命なんでものがご

(東京十二日醍醐蓮)陸軍で

談の結果用方歩み寄り削額會の政府案を改友案さを折衷し の政府案を改友案さを折衷し を今議會に提案するさ折合つ た模様である 五分、百圓以上干圓未滿は一割即ち現金百萬圓未滿は一割即ち現金百萬圓未滿は一割 以下さす。定限以上の利息 明り闘會に提出する事を要望した負債整理組合法案を休官 に提出か に東京十一日養國地)政友會 の山口幹事長は十一日午後四 時後機機相を訪ひ負債整理問 した際職相は農林省所管の問 した際職相は農林省所管の問 した際職相は農林省所管の問 した際職相は農林省所管の問

二月中に公布 「國迪」實業部では職業法の 施行を前に、舊正月明廿二月 上旬新京に於て各省より代表 三名宛を招集し職務會嗣を開 を全なし二月中には公布を見

郵便貯金大減少

政府の用途計畫に齟齬

鐵道問題で 鐵相政友幹部

て東京十一日麓越通 職道問 (東京十一日麓越通) 職道問 (東京十一日麓越通) 職道問題は休會明け職會で雷然政友 育内の强硬派から問題ささる 町き情勢にあるので職相は之に先立ち十四日年後六時から 集地田中家で政友會の院内外 役員を招待し同問題につき詳 和説明諒靜を求める事ごなつた

に二億回減少して場計数上の組 圏の差を來し運用計畫上の組 の差を來し運用計畫上の組

だが、人間が土に就者する かはおそろしかつた。 乞食の がはおそろしかつた。 乞食の だはるみの父母は、その生れ だはるみの父母は、その生れ

れほご恃みがたなく、ごれほご脆いものだつたか、いや、 それよりも人間の所有するものが、なんご、水に浮いた泡 よりもはかなかつたではないか、兇作が輝いて、田にも、 が、兇作が輝いて、田にも、 をたご、首姓の仕事は無くなつた。それこ同時に、小地王の 不動産なごさ云ふものは、本の態を自分のものだこを現った。 をかうな、ものだつたものにこを現するかった。 をからないものだったもつことが、穀物のだったもつことに、雲を所有してものだったもつことが、穀物ののには金がかく、 はるみは、いま、めまぐをはかに來たそのよさに、二 はるみは、いま、めまぐを 三年ほごの歳月は、

はるみは、いま、めまぐる しい二年間を消想してみた。 そしてかう云ふ世界に生きて 来た自分が果して三津澤の懐 へ飛び込んで行つて、相手を も幸福にし、自分も新らしい 生活を築いでゆくこさが出来 るが何うかさ心配した。 が、其心配は長くつでけな くてもよかつた。ばたんさ入 口のドフを音させて、そこへ 入つて来た客を、直ぐ三津澤 だき割めるこさが出来たから ご津澤は、外套の襟を立て

三をはに娘たをな 刋 紹介

新京には州外總と を五十銭、大連紀伊 を五十銭、大連紀伊 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 では、 がいる。 では、 がいる。 では、 がいる。 では、 がいる。 では、 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 大他の臣議、緩興字野路唯永洲講修を垣

が根浦團

取交電話||||||



た。はらみは、長いこさ自分の好いお客さんだつた安川を すつばかして、三津澤の榜へ 「この人にサービスするのも

M-122

于服皮

は楽楽子マクラビリ 安全に排虫 ーデンニクマは日本

ニはの根 疾病の根 疾病の 開

二町普進設大店商吉友澤藤 料會式物

春 小冊子『恐ろしい蝎虫』お申蔵大第進星 の 衣裝

新柄陳

親切

確

叮嚀

地場銀行を御利用下さい首都新京に唯一つの

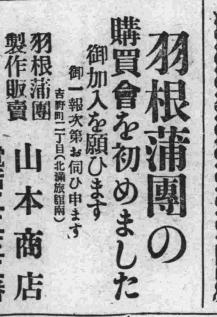
實

三笠町三丁目

**會社 長春實業銀行** 

電話二心聖香

**夕村岡吳服店** 



罐渍海乾

詰物物物

卸商

1

商

電話三〇七五番

產



鋤ち 水寄 たせ き鍋

す し竹食堂

相跡電話二七二四

業品目 

CHIRITITEE . 防水工事請負徵共工事請負 enninnin

店

建築材料商

《商

....

支店開設に毛皮廉賣 P 電話二五三五零

吳服店

表記録

## 良の空軍 全部で廿 動 敷機のみ

年八和 地南苑北苑の兩飛行場でも海市の學良軍大移動につれて雷帝の學良軍大移動につれて雷 事人で大多忙を極めて居るが を組立て試験飛行並に落機の 歴光 國から買ひ込んだ飛行機

「上海事件の辞客下51と でかる日系盛人を獨逸人か働 くか否かは大に懸念されてみ のである日系盛人を獨逸人か働

合の優秀機を有し乍ら日本の一 飛行機には何の敵對行為も出來なかつたではないかその半数に遵ぎない欄行機で何か出來るか日本軍の上空迄行かない前にたとき落されて了るに定つてゐる」ミ沖事もらしてゐる因に學良軍の飛行機は彼の逃走出の學良自用機三機の 「北平十二日酸國通」米國公 中夏南京に赴くが東氏は哪門二日北 中夏南京に赴くが東氏は哪門三日北 中夏南京に赴くが東氏は哪門 見席ださ云つてゐる 英米兩公使

長就任法院

石河右岸の

陣地漸く成る

もので第二線も大半出來上つ で居る 

皇軍の平津進出は

近兵を進めるこは全く信じ ちれない、要するに帰良か その態度を決せざるに於て は彼の外遊ごころか、おそ らく逃け場所をも失ひ結局 自殺の一路を撰ぶ外ない窮

大な軍事費を要求した真の日本軍部が明年度豫算に尨

能性は消滅したご

△で地でいるのの

(東京十一日 級國祖) 中央委員會に於けるスターリンの演説に對し外務常局は左の意見を有して居る

平の長條約の締結を要求し する会工業を戦争準備に向 けた故で今や之により日路 不可侵條約の締結を要求し

地に陷るのであらう! 地に陥るのであらう!

我對案ご調和す

べき

事務局案の處理

上海在銀高

信ぜられない

在滿外人間の批評

**心める恐れるる平津地方に**べきも観際関係を不利なら

(上海十二日 般 國 ) 在 銀 高 一 四 三 八 阿 均 合 計 三 三 一 。 四 五 四 兩 一 二 二 一 。 四 五 四 兩 一 二 二 一 。 四 五 四 兩

中 十九ク製委員會こ我對案さを 一年前ジュチーヴ十一日發劇通」 見で事務局案を完成し十三日 所 研究中だが、昨十日午後五時 の和協の努力を命せられてる 4の では、10 日本側 ででは、10 日本側 でででは、10 日本側 ででは、10 日本側 では、10 日本側

高大開

合豆豆雜栗

支那の洋稔的抗議に

外務省から反駁

に原案を哲終らせ午後の會

合雜栗玉 間 製 黍

満洲國の森林開發に

共榮紀業の計畫

包頭に向ふ

通過平綏線の終點包網に向つ 信陽に駐せる馬鴻遜軍は十五 信陽に駐せる馬鴻遜軍は十五 は皆明度軍で兵力は四千五百 ルスピード涌過するので詳細 大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官派遣を决する四月一日より世界主要各國の首府の大公使館に各國同樣大公使館付武官を派遣するに大公使館付武官を派遣するに

張學良の兵匪懷柔策

學良の對日

南京政府に提出する客だか右 南京政府に提出する客だか右 を呼駁すべく十一日有吉会使 を呼駁すべく十一日有吉会使 を呼駁すべく十一日有吉会使 を呼駁すべく十一日有吉会使

十分 刊憲兵屯所並に同地開 看 順所 に爆彈數 個を投する 者あり、我駐屯軍に於ては 一九〇一年最終 輸定書によ る權利を行使す可く犯人速 がに向ひたり。 尚我出先官 意は現地支那軍憲 3 協定を 意け南門を一時我軍に於て

B

別する爲張學良は各傷身関並方面に於ける我軍の後方を擦
し、天津十二日發國頭〕山舟關

日

愈々窮せる

京

新

ある。土人の言によれば第一で貨車四十会輛をもつて輸送して来たもので民家から徹鏡して来たもので職送

日三

電信機七十個である 電信機七十個である 電信機七十個である

兵力移動終る 保定。石家莊、北平一帶に 張家口 歩兵一ク旅 部除である) ・およコケ族 ・以上は、何れも興良直系の 

山海鯣事件は我方の調査に

前十一時引機ぎに赴け管理する事さなり、二

(東京砂園通) 共祭乱業會社 では十二月廿八日午後三時か 、丸の内工業俱樂部に重役會 を開催、門野計長、母原銀次 が其他商役出席養に通洲森林 では十二月廿八日午後三時か では十二月廿八日午後三時か では十二月廿八日午後三時か

行ひ。一致して森林資源開建を所有する者は宜しく合同をを所有する者は宜しく合同を

二月 大豆三五。五一〇豆類其他五八〇高粱二。五五〇小米一、二〇〇包米一、一四〇

八九四五

向人。支那人二百余名で、之 るので右王旨に耐しては何等 の異議無き旨回答したさ。而 の異議無き旨回答したさ。而

大麻子八〇小麻子大四四豆餅、一一三瓜子八〇小麻子大四四豆餅、一一三瓜子六九九蘇子一〇三小豆一月、十豆五一、六六四豆類具他一、四九三高栗五、四一一小米一、四二二苞米三、五一一六小麻子一、四二二苞米三、五一二六小麻子一、二四三豆餅

鮮米四十萬石

買入れ決定す

朝鮮米四十萬石賞入れざ

**杰** 完量克<u>□</u>

聞

それぞれ相常の金額を賞與

「天津十二日**菱**幌通」學良對日兵力移動は昨十一日を以つて大体完了したものご観られて居るが。現在の兵力配置状况左の如し

挺毎に二十三元

小銃を鹵獲する者には一

同じく機關銃に對しては

同じく大砲に對しては四

(東京十二日發詞第) 機林省體設

等々の布告を出し我軍の果敢なお討伐に威壓されてゐる僧 勇事等を鼓舞せん事に始めて 居るが。斯く好餌を以て兵匪 を釣るのは彼等支那軍同一流

天津塘冶一帶

騎兵ニケ旅

北平附近

歩兵一ケ旅 歩兵四ヶ旅

> (以上學良傍系軍隊) 歩兵二ケ旅、騎兵二ケ旅

山海關實情調査に

年

頭

所

咸

も既に付いて居るので會計所 を樹立する窓向であるこ。共 受會社では同國内平静の目安 気を樹立する窓向であるこ。共

OHII Chts.01

六三老明

計六、七四四五

伐採権を有する磷鐵。東拓さ なるため徐々に行ひ内地側の響の合同は急遣なる管現困難

部で百五十億石の森林を有し 部で百五十億石の森林を有し 部で百五十億石の森林を有し

元皇

は吉會沿線のみで州億石

三、交级 四、102版

三公里

ので十億石斛來非常に

國有財產法

劉次長北上す

て日支問題の一部さ

認めて

政友會總裁

鈴木喜三郎

**一般では、こして嘲笑してゐる** 別によつて實行の伴はぬ懐柔 計心の學良魔下の軍隊ですら

の信果内務省で實行可能さ認めたる改正 とない。 本学者に提案する議山本内相は右三 な正提案する議山本内相は右三 な正提案する議山本内相は右三 な正提案する議山本内相は右三 をのご提案する場山本内相は右三 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 でいる。 でい。 でいる。 に並各項選舉を警法中内務省る改正案さ第三案各項折衷案 商震龍炳勳兩軍 潮次官は第 開始したか6多分今夜天津を り類州方面に集中する事さな る管でかる 主力を灤州方面集結 のさ見られてゐる 案を閣議提出 三見られてゐる

「東京十一日 最 関 通 1 十一日 は 新年始めの 福 府 會 諸 定 例 日 なるも上 講案 無きため 倉 富。 平 沼 正 副 韻 長 以 下 名 昭 間 官。 樞府初會議 長期も同様の不振ぶりである二百九圓こ高値よりは二圓

【#京十一日發國通】午前の東株市場は基外に深刻な反動を見せて日産は百周臺劇れ九十九段さいふ天井からは十七周安、鏡紡は一百四十八関で高値よりは十七周安、鏡紡は一百四十八関で

める選舉公營案を含める折衷

に於て山本内相爾次官以下出

に意見を交換して散會した中に参集新年の挨拶を交換し

諸株低落

駐日露大使更迭

ユ新大使は三月來任

上旬來朝の管である 上旬來朝の管である 上旬來朝の管である

「新京十二日銅通」 今後緑々 荷主院 在貨は十日現在開資 高 梁 へ 元会順 末蜀黍 10二雲順 東 10二三三順 東 10五十一 東 10五十二 日 10五十二 日

大年十月 大豆一、六二〇高樂二四〇小米一八〇苞米一八〇苞米一八〇苞米一八〇一次一八八大麻平八八瓜子一四二雜製三〇計三、〇八四

三七〇大麻十一、九〇六小麻

一九〇小米七四苞木三〇〇吉豆八三二芝麻二大麻子二三小麻子二三豆餅六三瓜子一五三計五、五八九以上合計大豆四十五、一九六四大麻子二三小麻子二三小水大四大麻子二三三十五十六四大麻子二二三十五十八四豆餅二。七〇四豆餅二、七〇八豆餅二、七〇八豆餅二、七〇八豆類二、七〇八豆餅二、九八二八八芝麻八五九八三面,大三小米三、大三小米三、大三小米三、大三小米三、大三小米三、大三小龙山水上。七〇八豆餅二、大三小米三、大三小龙山水上。七一七麻子二、九八七旬米六、八一七三豆一五雜穀一八七旬米六、八一七三豆一、五九三百類其他七、一八三高黎一、大一九三百五、五九三豆類其他七、一八三高。梁一三、五六二小米一五、三、八七旬米六、八一七三豆一、一百、三、五十二百、三、五六二小米一五、三 日米賞替一回賣

城内錢鈔相塲 出來高 出來度 至"空 現物10~四 明 1011元五 安 10三元10 奉取相場(十二日前場) 京取相塲

現大洋錢對金票 現大洋錢對金票 數 票 對 金 票 九九八六〇五九八八六〇五九八八六〇五

美酒佳肴 座裏

『話三四九〇番

番八〇八三話電 町 曙

御藥の御用は 是非御電話にて 話二四七六番

東西號藥房

一〇大麻子二三小麻子九五豆 餅一、〇六一豆油三八爪子一 五〇小麥六〇大麥二三計二二 四月、大豆一一一、四〇五豆四月、大豆一一一、四〇五豆四八〇芝麻五六香麥六

五月 大豆九八、一〇〇 類其他三〇〇高聚三、九〇一小米一、〇七八苞《一、二六〇十五分配六番麥一、九〇七六麻子五小麻子一七六豆餅一、〇九〇瓜子五七大麥二三小豆六〇雜九計一〇八、四

大月 大豆四九、四四一豆類 其他一八〇高梁一、七七〇小 米五七、苞木五四〇吉豆六三 〇芝麻二十蕎麥二、三九一小 麻子七四二瓜千五九小豆二八

其他昌圖。 双扇子、郭家店の 分を加へて創記機合計二十九 萬九百十一順さなるか、これ を昨年度同期院内在賞二十二 を明年度同期院内在賞二十二 

原案成る

町からざる民族たるの一事を 事實に依て 歐 米 人 に證明ゼ ねばならね、尤もこれは永き 時日を要する 大 事 業 であつ で、現在働き盛りの日本國民 が完了し得ねば第二、第三の 國民の不拔の努力に俟たねば ならぬそれだけに樂しみでも ならぬそれだけに樂しみでも 識人の大責任がある。

第二十百六千三

「天津十二日發胡頭」 幽道による軍事輸送は緩慢さなつて。 あたが又盛んさなつた、即ち昨日から今朝十時空に天津通時日から今朝十時空に天津通

紹入れんさしつもあり、 駅にするため劉外交次長を 北上せしめ張擧良さ協力せ しむる事さなつた劉次長は もなる事さなった劉次長は

年頭に際し を上手萬國民一同悲慶の個名で を上手萬國民一同悲慶の個名で を上手萬國民一同悲慶の個名で を上手萬國民一同悲慶の個名で を見ざち卒直なら昨年に引續いて 変を要せめ、吾國既に從來例 を見ざち卒直なら外交を以て を見ざち卒直なら外交を以て

假を地方的問題にあらずし嗣民政府は日本の山海關占

前線に送る

「南京十二日登園通」國民政府は本日中央政治會議の決勝 に基舎外交次長劉崇傑を北支 に派遣するに決し劉次長は十一日午後六時浦口簽建浦線で 急選北上北平に向け出發した 右に親舎國民政府は十一日夜

経入れんさしつもあり、観察張し且又日本軍九門口の 緊張し且又日本軍九門口の

部を訪び組文幹に手交した

「南京十二日菱関通」山海闘事件に関し國民政府に對する日(南京十二日菱関通」山海闘事件に関し國民政府に對する日

内務省首脳部會議を内相官邸に東京十二日登國通〕渓県法

恋いて世界の文明貢献に映く を整して満洲の文化に客與し を整して満洲の文化に客與し

選舉公營案

我が回答書

以上は現下の所謂非常時に別の中の萬事萬端を非常時の一部で片付けるのが宜いかきっかは疑問であるが、一體、世の常見をいふ事ならば將來さる常に肝安であり、國民精神の緊張さいる事ならば將來さ

進歩したのであるが、此の諸 中財政經濟の諸方策が中當に 中財政経濟の諸方策が中當に 方策中如何なる點を一層徹底 せしむ可きか、而して徹底せ しむるには更に如何なる立案 方法がよいか、爲替三物價さ

んな所が年頭の所感である 場せしめねばならぬ、先づこ

疾れ職菌は陰鬱の名氣の種に 変るものである。高邁なる理 想ご頻潔なる氣気:穩電なる 質行方法ごを常に職裏に蔵す 明きは勿論であるが去似進退 はあくまで明快を選び、一世

もので日本政府は事件弾决 中尉他二名戦死せり、我軍中尉他二名戦死せり、我軍

するのなり に関する一切の権利を將挙に関係し取政へを事實の異

びに民政部に於て調査部原条個に切離し夫々主管魔業部並

一の起草に當る事さなつた

新京管内の

院內現在

四平街驛中心の

ヤ

貨物動き三

六年十月から

日露不可侵條約

最後的可能性は消滅

一、四洮洮昻線 各驛發當驛通 過連絡貨物高 七年九月まで

先物寄付 大連錢鈔 阪神相塲 (+118) 九·四 跡 九·云 (土田前場)

海外市况(+18)

る(未完)

七月 大豆二、六八〇豆類 其他六〇高梁一、八九〇小米 六〇一苞六六〇〇岩豆三六三 需麥八四〇小麻+一 〇九一 瓜-一八計二、八一四三 八月 大豆一、九八〇豆類其 他三〇高梁七五〇小米三九 〇 他三〇高梁七五〇小米三九 〇 位米七八〇吉豆九〇芝麻、番 麥四六〇小麻チ四三八豆啡二 〇四小豆九〇計五、三一四 九月 大豆二,八三九高梁一

外務省が松竹に

ろ詳細規定等は地方事務所針 月廿日迄であるがこれに願す

長春座問題

動寫真に、 活

いより

揉める

紹介映畵製作を命ず

日本精神宣揚が目的

的使命を持つ映畵の製作配給

が寒いこ云ふ非難暗いこ云ふれて居りますので何さかしなくては三思つてゐます場内

禁煙園碁と麻雀大會

圍碁大會

(世)日頃

非難を始め

長春座改革問題に就て重役 語つた

行者へ直接で社でも契約をする人及貸しさ云ふのでなく関行者へ直接で社でも、関行

にきりからる事になった外務 作では先づ第一に 外頭の一般 民衆に 外開する必要から映画 の對外配給の便宜を持つ松竹 及 \* 活等 5 神機し之等に補助 をを変附し製家的補等下にニュース及 動情紹介の映画を製 作せしめ外 が映画 冒趾に配給 する方針で一般 管利會社の ニュース 成出にも監督官職 こし

・ 昨日御紙で拜見しました ・ 1 で中らねば駄目でせ ・ 1 に でかられば駄目でせ

ますまい、すべてを會社の直 戦場らしい股値をせればなり 地域の値り、此際ですから多

は追て

會

(廿九日頃)

で、西原場小學校に於 ・ で、西原場小學校に於

を出奔盛言を吐き或は と成長した、二人の者の落者 と成長した、二人の者の落者

一人、二十一歳から二十五歳 の者二人、四十六歳から五 十歳の者二人、五十六歳から五

の内線の妻松岡チョノ(三六)の内線の妻松岡チョノ(三六)

きつてるる家庭では父親貫一めてるた事もある。紊らんしめてるた事もある。紊らんし

に凱業をつぐけ、繼母のチョは夜遇く左呑み歩き、内を外

父も父母も母なり

も缺陷

ナ供はまた名うての不良

現在の宿泊人はII+七名に選

戸外デー

美術展層會

を眠の箱岳生活を戸外に開放 と眠の箱岳生活を戸外に開放 を眠の箱岳生活を戸外に開放

はれる事になつてゐるが。 雷 で来る二十二日全議一齊に行

は成長した、二人の者の落者の は成長した、二人の者の落者 は成立のは、 は関もかがまへぬ頃から機母 を関もかがまへぬ頃から機母 の手に育てられ、 虐待されつ

感が濃厚であった

## 氣覗き に壓倒され

に枕を並べて打死するさいよ 有様で、過去の不景氣時代の 正月を思はせるものがあつた 然しそれでも一流の科亭では 一日五百圓平均の賣湯をみて るる。この不振原因について るる。この不振原因について は様々の觀察方があるでれら 身い湯洲峨日本官吏の殆んご 良い湯洲峨日本官吏の殆んご カフェーに駆倒されてゐるの山海陽方面の戦闘の賃軍部方面の戦闘の賃軍部方

分新点競飛行機で哈爾賓に赴 席のため十四日午後零時代五 の哈爾賓地方事務局開設に列

料亭はまるで火が消にた様 會係に照合する事になつて居

謝外長赴哈 本軍のため撃破された李杜隆 下の支那兵のツ領頭人に関し 本日モスコーに達したツ聯側 の公電によれば彼等は護隊に を分散して練ツ々領マルイロ

大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大に帰還の答り 大の場子に一大日頃奉 大に帰還の答り 大の場子に一大日頃奉

は十二日夜八時三十一分内地 は十二日夜八時三十一分内地 約十五分間に亘り中継放送を

代らねばなられさ云ふ前を中るも

なが

耐泉現在百八十七名の志黛的介希望皆数の調査を行つ

感光紙と

焼付

御

和紙陽至感光紙和紙青寫眞感光紙

發賣元

大同工業寫眞株式會社

新京中央通三六 電話二一一六番

電話(三)九七)番

町野吉春長

があり其の内の百名は室町西

はま菜子等には、のでかつかしい問題であり何がでしても実施のを提供して客から、のでかつかしい問題であり何のでかつかしい問題であり何のでかつかしい問題であり何のでかつかしい問題であり何のでかっしても実施のを提供して客からない。 ここのを提供して客からない。 はお菜子等にはなるやうな結果こならいまするやうに皆頭を痛めている。

百八十七名

クにて卑いされ 新京大和通三三 新京大和通三三 新京大和通三三 新京大和通三三 新京大和通三三 新京大和通三三

社員募集廣告

長尾司長

視察旅行

) 團長

直ちにツ聯官憲のため武装解除され收容所に拘禁された。 通人兵機数はツルイゴウ地方 約三千イマン地方約百五十で 之等拘禁者中に李杜も含まれ 限り、仲茶館で愛る

李杜の敗殘兵

ケー大會で

新京商業學校では去る六日奉

内地へ中繼放送

るの、、重役間でもこれまいろう・疑惑を招くこまになる。仲茶屋だけのの買い 貞雪にするさいふの でしたものと河續して小屋 いうく話したこさがあり

會議

アイスホッ

支支支本

奉 天 春 日 町 一東京日本橋區等町二大阪市東區偏後町二

きなつて來る 新京警備 るので試験地獄は益々激烈 約半数は振り落され

支 本

店店

大連 市榮 町四

山湾兵隊長高地源兵分隊長高山湾兵隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高地源兵分隊長高 新京警備司令部に於て十一日

測量器械を製圖

用品

會株

社式

內

田

行

張所

新京中央通三六

電話三二六番

商業優勝

遠征全國第一の强チームミしたな怪乗る十七日朝鮮京城に 本一蹴して優勝の榮冠を纏つ たな怪乗る十七日朝鮮京城に たな怪乗る十七日朝鮮京城に 交へるべく猛練習に餘念がな

## 来ない賣場かあるので仲茶屋 仲茶屋の題がむづかしいこの 田副總裁 **単校も又多数□志望者をフルつて一番の難弱である人際試**って一番の難弱である人際試 を諒解 も

は成るべ

ニルビ京新

ブを少く

俱

くウエー

年型の中

一九三三

年向きの

御くしさ

しまして

京

総裁の ・
に要望に関しては四月氏が中 ・
に要望に関しては四月氏が中 ・
に要望に関しては四月氏が中 ・
になり過数來領鐵當局に對 中學設置の要を諒解 期待に副ふど約す

るに至った、 なほ解氏は人口増加に伴ふ繭 破病院の増栄腎員の増加をも 観病院の増栄腎員の増加をも 根語、副總裁も十一、二甲日 根語、副総裁も十一、二甲日 一多分一のこみられ タキあけたプワモノで、ノドれた蛯櫻六榮さ呼んで[1]十二 オハヤの時から長唄専門にタ

されま

≥一葉に現れ博愛家に及す。

ーピスでノウサ

第千酮

足カレ 鮮魚小賣相場 E ヒラメ 7 10

車向老 三人合 カニか 三八三〇

サノポホナマコリルラテ見二五〇〇五〇 五五 アワビ カマホコ TOEOGENA SE O

茶 物

商店店

純日本簞笥 和祥家具 室 内地ノ職人ノ作ッタ 內裝飾 高尚ナ簞笥 服 7 製造販賣 上 = 家 新京三笠町四丁目五 品 デ 具 ス 1

純洋風ハリウツド式 新京常報町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號向横町 フリージャ美容室



「金州自園產澤庵」

「たくあん」です舊年の御愛食を謝し大同二 年を祝福する爲年頭の御奉仕を致します

直 賣 所

師ニナバ

ます れて居り

しが好ま

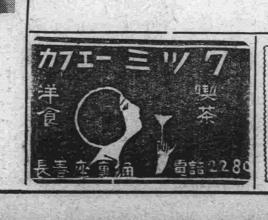
トな御く

ピスマー すつきり

「年頭の御奉仕

『五百樽を限り 園産の味本位の

十樽以上の御注文は別に御相談に應じます 樽に付七圓八十錢 新京大馬路五馬路角



ブラク

**一其の他飲物利洋菓子果物** 

E

新京版を枝町三丁目 本 山

新京百貨店食堂

したから一時も早くお求め下さい。 スターシュース』 スターシュース』

廣

春洋行

\*\*\*\*\*\*\* 紅

小宴會の御需めにも應じます然も至極御安く願つて居ります

調味は自慢



身美ブラク …… 液身美

も
中
も
は
大 すでか朗くし美



科營

代倉海牌庫運

及及選取

保金營業

六五四

前各項關係 力

勉强第一

有田燒卸小賣

料理は江戸前

電話三二九五

特に勉强如何樣にも

御相談に應じます

新

會株

新

勢妓好感

サービス満點

お料理席

支

店

店の

三笠町三丁目 電話三八O[I] 皆

銘茶、富貴紙原價發賣

東

₹ =

ブラク …… 粉

會歡

迎

グ 力 ……

クラブビシン 死 ブ

粉

西脇洋行

さ用右

向申込は小荷物扱所(社内二二四番)にされても宜敷うムいます 電話三二四一番 の節は電話な

い朗らかなホール 花も實もある暖か

特に御相談に應します

發 兌 元 奉天信濃町十三番地電四三五六 交進 社出版部

三笠町二丁

オンカフヱー

電話二三七九番

石

松

茂洋行

話一一一

**◎開業廣告** 

届士タクシー 富士町三丁目

新年會の御宴席は是非

嬉野へ御用命の程を

洗

樂道食

を致しませ

葉書にて左記に申込み下に収扱ひ致しますから御 一番地 曾

ZANALIA CHARACTER SALES CONTRACTOR SALES AND ASSESSMENT ASSESSMENT AND ASSESSMENT ASSESSMENT AND ASSESSMENT ASSESSMENT AND ASSESSMENT AS

石

記取

九日から な

ます)

美味萬點

書意 藪 定四四五番

本年も科製6字領引立を Zannenennennennennennennen

三空町四丁目十四番 話二九八八番

A夫人のお話

この順、社会とでで間化粧品の持寄り座談會を開きましたのまるこね。お集りの

三人の御夫人

揃ひも揃って

是非御立寄りの程を!!

目科業營

其他木工請頁 和洋家 具 類

柱

置

桶床

柱框、落掛は澤川調製致して

事用 與 事 用 與 有 表 明 表 明 是 市 是 代 理 宅 市 是 代 理 宅 市 是 代 理 宅 市 是 化 那 不 會 康 から何卒一層の御引立を母類申上ます今般左記の通り木工部を増設致しました今般左記の通り木工部を増設致しました

お祭の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げ 新祭の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げ 東

新築落成致しました 大馬路 北門外大馬路 水内 大馬路 水 大馬路 水 大馬路 水 大馬路 大田 開 店 旅

新京塔町三丁目 新京塔町三丁目 新京塔町三丁目 1000円 1000 1000円 1000円

(型錄進呈)

代理店

阿

製作元

カナへ商會製作所

海待ち兼ねの澤庵が本年は殊の外味も色も大變良く漬りました「一、正味一七貫入 大樽 金八圓也一、正味十七貫入 大樽 金八圓也一、正味一七貫入 小樽 金麥圓也一、正味一四貫入 小樽 金麥圓也一、正味 四貫入 小樽 金麥圓也

電牧場

店計時藤佐



香蘭社販賣所 日田漆器代理店

窯

元

龍



34 大 店 本 博多屋を支店を対すし東へ入る 保管確實

出 立後の 6 省 奉天、大連(市街圖) 近代出版部 竇捌所 奉天 大阪屋號書店大同元年發行、建國最初の地圖

刷度七 個八十四全